

キャン(株) 20040520

図解とはまさに、死後との関連を明確にするための強力な手段。理想とするアウトプットを考える上で非常に有効なおかつ目標実現のための仕組みを考える上で役立つ。

何のために企画で中国担当しているのか、社内でどういう人たちにどんな影響を与えるべく動かなければならないのかが全く見えていなかったかに気付かされました。

企画本部で私が一度行って見たかったものとかかなり近いことができました。今後は是非活かしていきたいと思えます。

常に自分の仕事を普段から大きな視点をとらえているのであろう人は上手く表現できるのだろうなあと感じました。自分としても多めに反省し、これからは大きな広し視点から自分の仕事を位置づけ、またそれw上司またそれを上司部下と見せ合い意見をしあうことでお互い理解を深めていきたいと思えました。

求められている課のミッションと実際に掲げているミッションの違いが明白になるという厳しい結果ではありましたが、これからの仕事の方向性や内容を考える上でとても有意義な研修でした。

先生が後段におっしゃった「図解革命をするのだ」というのは、大袈裟に聞こえることなく納得感がありました。時には自分からも主張しつつ、影ながら応戦させて頂きたいと思えます。

バイオホロニクス概念に通ず！生態系の進化のプロセスを思い出しました。

単発の研修という認識ではなく、日常の業務の中で意識して取り入れていきたいと思えます。

人と対話するツールとして、また自分と対話するツールとしてぜひ身につけて活用したいと思えます。

私の業務が多い為、テーマ名はなく、業務の関係図と致しましたがこれをベースに再構築してみたいと思えます。

課長としての自分の認識が課員に及ぼす影響の大きさ、責任の重さを知るよい機会にもなりました。

図解することは、仕事の内容、関係部門、目的、ミッション等、それらの理解度が端的に表れるものだという事がよく判った。作図では何が正しいかということよりも、わかりやすい物が正しいという事だと思えます。

図がすべて教えてくれる」を読んだ上での受講であったため、先生のお考えがよく理解でき、かつ共鳴いたしました。一日とても楽しく過ごしました。

物事を対極的に捉えるのに大変優れた手法であると思えます。

まず初めに図解を行い、全体を把握して振り返るようになれば、非常に有益であると感じた。今後はどう定着させるかだが、これは自分で意識して努めるしかないように思う。

目標達成にどのように活用していくかも考えてみたい。次、参加する機会があれば事務局ではなく生徒で単純に参加したい。

箇条書きから内容の関わりを示す図に変換する思考の変換を楽しめました。

この図解によって組織のMissionをメンバーとディスカッションすることにチャレンジしてみようかと思っております。

実務に活かせるという点でこれまで受けた研修で最も有意義でした。応用編として、浮かび上がってきた、問題点を解決するため、「図解」をどう活かすか「問題解決編」研修を受けたい。